

カトリック葛西教会 Kasai Catholic Church

復活節第4主日 4<sup>th</sup> Sunday of Easter

わたしが来たのは、羊が命を受けるため、しかも豊かに受けるためである(ヨハネ 10・10)

**I have come so that they may have life and have it is the full (Jn 10:10)**

〒134-0083 江戸川区中葛西 1-10-15

1-10-15 Naka-Kasai, Edogawa-ku, Tokyo

Tel. 03-3689-0014 Fax. 03-5696-4449

<http://kasaicc.net/>

主日のミサ

土曜日 Sat. 7:00pm (日本語)

日曜日 Sun.10:00am (日本語) &amp; 4:00pm (English)

**5月はマリア様の月です**

5月7日(喜び) 南葛西, 市川・行徳地区

世界の平和の為に カ 307 番

5月14日(苦しみ) 江東, 中・東葛西地区

小さな人々への慈しみの為に カ 322 番

5月21日(栄) 清新町, 松江・船堀地区

司祭の召命の為に 典 407 番

5月28日(光) 浦安, 北・西葛西地区

葛西教会共同体とご家族の為に カ 314 番

**明日は次兵衛会の巡礼です**

今年、御殿場の神山復生病院・復生記念館と裾野の聖心会修道院を巡ります。

**先週のチヂミ販売**

皆様のご協力で24,000円になり、全額を50周年記念事業に献金いたしました。ありがとうございました。

**聖書勉強会**

聖書勉強会を原則毎月第4日曜日のミサ後 11:30 より小聖堂で行います。5月は28日(日)です。たくさんの方の参加をお待ちしています。(宣教部:シスター植木)

**献堂 50周年記念事業第6期(1月~7月)献金報告**

2017年第6期報告(4月末現在)

申込者数: 70名(目標: 200名)

献金合計: 1,161,605円(目標: 3,000,000円) 1期からの合計は 14,074,572円です。今後とも皆様のご協力を宜しくお願い致します。ご質問などありましたら本橋俊和・佐藤隆一にお聞きください。

**Kasai Church 50<sup>th</sup> Anniv. Preparation Committee**Contribution for church's 50th Anniversary totals **14,074,572 yen**. Thank you for your understanding and continued support and prayer.**Tagalog Na Misa**Tuwing unang Mierkules ng bawat buwan ay magkakaroon ng Tagalog na Misa (alas 10:30 sa umaga). **June 7** ang Mierkules sa mga darating na buwan. May kumpisal at novena din sa mga ganoong araw.

Meron Healing Mass si Fr. Joey Faller ng Kamay ui Hesus

**ウルスラ修道会でのミサ**

これからの予定は、5月18日(木)、6月15日(木)、7月20日(木)です。おいしいランチと祈りのひと時をご一緒に。皆様ご参加下さい。

**50周年ロザリオの祈りの報告(2017年分)**

4月は11名 139環で、累計46名 529環です2017年も3,000環が目標です。よろしくお願ひ致します。

(50周年委員会)

**共同祈願の祈り**わたしたちは神の民  
その牧場の羊。

その他今後の予定

- 05月07日(日) 復活節第4主日
- 05月13日(土) **Block Rosary Crusade 23<sup>rd</sup> Anniversary**
- 05月14日(日) 復活節第5主日
- 05月21日(日) 復活節第6主日
- 05月28日(日) 主の昇天

**今週の掃除**は5月13日(土)  
国際グループです。皆さまご参加ください。  
This Week's Church Cleaning Duty May 13<sup>th</sup> Saturday  
**International Group**

**掃除当番の方々へ**：トマスホールの椅子は、体の不自由な方が通れるように聖堂との境から**タイル2枚分(約60cm)あけて**並べて下さい。

献堂50周年記念事業準備  
葛西教会は2019年に松江教会から数えて50年を迎えます。老朽化した建物の内装・配管・照明・音響などさまざまな課題を踏まえ、心を一つにして準備作業を行いたいと思います。ご協力をお願い致します。

## 『復活節第4主日』A年

今日の福音 ヨハネによる福音 (10 : 1 - 10)

[そのとき、イエスは言われた。]「はっきり言うておく。羊の囲いに入るのに、門を通らないでほかの所を乗り越えて来る者は、盗人であり、強盗である。門から入る者が羊飼いである。門番は羊飼いは門を開き、羊はその声を聞き分ける。羊飼いは自分の羊の名を呼んで連れ出す。自分の羊をすべて連れ出すと、先頭に立って行く。羊はその声を知っているので、ついて行く。しかし、ほかの者には決してついて行かず、逃げ去る。ほかの者たちの声を知らないからである。」イエスは、このたとえをファリサイ派の人々に話されたが、彼らはその話が何のことか分からなかった。

イエスはまた言われた。「はっきり言うておく。わたしは羊の門である。わたしより前に来た者は皆、盗人であり、強盗である。しかし、羊は彼らの言うことを聞かなかった。わたしは門である。わたしを通過して入る者は救われる。その人は、門を出入りして牧草を見つける。盗人が来るのは、盗んだり、屠ったり、滅ぼしたりするためにほかならない。わたしが来たのは、羊が命を受けるため、しかも豊かに受けるためである。」

聖書新共同訳より引用

### A Reading from the Holy Gospel according to John (10 : 1-10) *Called to follow our Shepherd*

Jesus said: "I tell you most solemnly, anyone who does not enter the sheepfold through the gate, but gets in some other way is a thief and a brigand. The one who enters through the gate is the shepherd of the flock; the gatekeeper lets him in, the sheep hear his voice, one by one he calls his own sheep and leads them out. When he has brought out his flock, he goes ahead of them, and the sheep follow because they know his voice. They never follow a stranger but run away from him: they do not recognize the voice of strangers."

Jesus told them this parable but they failed to understand what he meant by telling it to them.

So Jesus spoke to them again:

"I tell you most solemnly, I am the gate of the sheepfold. All the others who have come are thieves and brigands; but the sheep took no notice of them. I am the gate. Anyone who enters through me will be safe: he will go freely in and out and be sure of finding pasture. The thief comes only to steal and kill and destroy. I have come so that they may have life and have it to the full."

This is the Gospel of the Lord

【福音朗読】

わたしは羊の門である

〔復活節第四主日は「良い牧者の主日」とも呼ばれ、毎年、ヨハネ10章「羊と羊飼ひ」のたとえが読まれる。これらのたとえは、イエスが生まれつきの盲人をいやしたにもかかわらず、イエスを受け入れようとしないファリサイ派の人々(9章参照)に向けて語られたことばである〕

- |       |  |
|-------|--|
| 囲い    | パレスチナの羊飼ひは遊牧生活であったが、夜は外敵から守るために羊を囲いに入れた。         |
| 聞き分ける | 直訳では「聞く」。「聞く」には「聞き従う」という意味もある。                   |
| 知っている | 「知る」というのはただ知識として知っているというだけでなく、両者の深い交わりを表すことばである。 |

<拝領唱>

「主はよい牧者、羊を守り、群れのためにいのちをささげられた。アレルヤ。」

COMMUNION ANTIPHON

The Good Shepherd is risen! He who laid down his life for his sheep and died for his flock is risen, alleluia!